デジタル庁「ガバメントAI」始動：国内7モデル選定と知財・ビジネスへの波及効果

選定された国内7モデルと評価の仕組み

実力を暴く「当日開示型」評価テスト

多様な開発アプローチの混成

機密性2情報を扱える高い安全性

国民の権利に関わる重要情報を安全に処理できるセキュリティ基準が必須条件

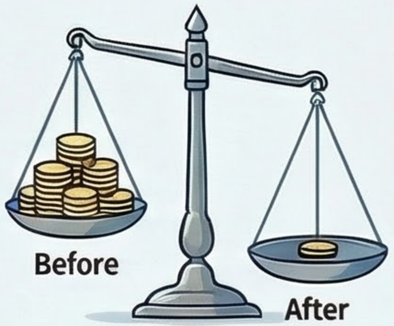
選定された7モデルの主要な技術的強み

提供企業	モデル名	主な特徴・強み
NEC / NTTデータ	cotomi v3 / tsuzumi 2	圧倒的な推論速度と、1GPUで動作する軽量設計。
SoftBank / PFN	Sarashina2 / PLaMo 2.0	国内最大級の1兆トークン学習と、政府AIでの実運用実績。
KDDI / 富士通 / CC	ELYZA / Takane / CC Gov	海外ベースの日本語強化と、富士通の知見活用の重子化技術。

知財・ビジネスへの3つの波及効果

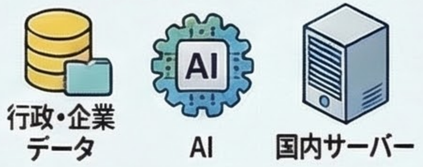
知財実務のコストを最大1,000分の1へ

特許調査や分析に特化したLLMの活用により、作業工数とコストを劇的に削減。



「政府のお墨付き」が民間採用を加速

政府が品質と安全性を保証することで、企業が安心して自社業務LLMを導入可能に。

日本国内で完結するデータ主権

行政・企業データが海外サーバーを経由せず、国内で完結するため機密漏洩リスクを回避。